

求 人 票

【2022年初旬、事業規模拡張に伴う増員募集です】

求 人 者	法人名	 社会医療法人三栄会									
	代表者	理事長 塚崎 高志									
	事業所 及び 所在地	社会医療法人三栄会 ツカザキ病院 〒671-1227 兵庫県姫路市網干区和久68-1 TEL079-272-8555 HPアドレス http://www.tsukazaki-hp.jp/									
	人事担当者	人事課長 長谷川 樹 リハビリテーション科 科長 島谷 健太郎 人事担当 土井 伸哉									
	事業内容	・ツカザキ病院（設立：昭和38年4月） 外科・脳神経外科・消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・総合内科・呼吸器内科 ・従業員数 916名 消化器内科・循環器内科・神経内科・感染症内科・眼科・整形外科・乳腺外科・泌尿器科 ・届出病床数 241床（回リハ40床） 糖尿病内科・救急科・麻酔科・人工透析内科・放射線科・リハビリテーション科									
求 人 数 等	勤務先	ツカザキ病院		職 員 数	医師	91名	理学療法士	47名	管理栄養士	7名	
	職種	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士			看護師	351名	作業療法士	28名	調理師	19名	
	年齢	不問			准看護師	19名	言語聴覚士	14名	社会福祉士	14名	
	求人数	病床数の増床等により、 大幅な増員を予定しております。			看護助手	51名	臨床心理士	1名	保育士	2名	
	職務内容	急性期から回復期にかけて 疾患別チームによる専門的な リハビリテーション従事			クラーク	14名	臨床検査技師	20名	事務員等	108名	
					薬剤師	28名	臨床工学技士	31名			
	免許	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 ※取得見込み可			放射線技師	24名	視能訓練士	47名			
勤 務 条 件 等	賃 金	区分	備考		勤 務 時 間 等	日勤勤務	8：40～17：00		賞 与	年/2回 約4.5ヶ月 (7月・12月)	
		基本給	当院規定に準ずる			休憩時間	50分			昇 給	年/1回 3,000円～4,000円 (一部は人事考課を反映)
		【モデル年収】※基本給は経験・能力により加算あり		残業時間		10時間/月程度		加 入 保 険 等			健康保険・厚生年金 雇用保険・労災・財形 兵庫県病院企業年金基金
		1年目	350万円～			休 日 ・ 休 暇	年間休日		111日（シフト制） 月9～10日程度		他
		3年目	405万円～				有給休暇	初年度10日。最高20日			
		4年目	410万円～				特別休暇	結婚・忌引き等			
		※食事手当 4,500円/月		宿 舎		無し【住居補助有】 ※自宅（実家）から当院までの通勤距離が 片道20km以上を原則とする。 ※家賃・共益費の1/2（上限3万円）					
		※通勤手当 全額支給（上限37,500円/月）									
		※時間外手当は実績による									
		※リハ休日手当 5,000円/回（日曜・祝日リハビリあり）									
応 募 ・ 選 考 要 項	応募時期	随時 ■病院見学を随時受け付けております。（ホームページよりご予約ください）									
	応募書類	履歴書（写真付）・卒業見込証明書・成績証明書・健康診断書									
	書類提出先	ツカザキ病院 人事課：土井宛									
	選考場所	ツカザキ病院									
	選考日時	第1回採用選考会：2021年9月14日（火） 第2回採用選考会：2021年10月26日（火） 第3回採用選考会：2021年12月開催予定 ※選考会日程の詳細につきましては、決定次第ホームページにて公開いたします。 ※採用人数が定員に到達次第、受付を終了させていただきます。									
	選考方法	書類選考、筆記試験（適性検査・専門試験）、面接、健康診断									
補 足 事 項	◇ツカザキ病院は三栄会理念の元、「患者様に満足して頂ける病院」「地域医療・救急医療に貢献できる病院」を目指しています。 ◇リハビリテーション科は、全ての施設基準を取得している総合リハビリテーション施設です。 ・脳血管リハ（I） ・運動器リハ（I） ・呼吸器リハ（I） ・心大血管リハ（I） ・がんリハ ◇超急性期リハから回復期リハ、介護事業まで回復段階に応じたりハビリが経験できる施設です。 ◇専門職としてのレベルアップも図れる様、研修体制、職場環境を充実させており、働きやすい職場作りに取り組んでいます。										



- 教育プログラム -

- マンツーマン指導による新人教育システム
- スペシャリストへのステージアアップを支援
- 院外研修への補助

進化は挑戦からはじまる

マンツーマン指導による 新人教育システム

『新人教育ラダー』

新人教育は各疾患の班別に分かれて行っています。希望の班を入職時に確認します。

班別教育の中でも「マンツーマン指導」を取り入れており、分からないことも「すぐに確認できる先輩がいる」という安心感を持てます。



8月
～
3月

新患の初期評価や代診を実施。
目標：他セラピストと同様の業務が行える。
一年間通して、毎月指導者会議を行い、新人職員の現在の状況、今後の方針の確認等を行いフォローする。
8月にはリハ科内での発表、年度末には院外発表を実施。

7月

月末目標は独立(軽度～重度):8.9人程度のリハビリを実施。
月末には中等度の患者の代診を独立で開始。

6月

月末目標は独立(軽度～中等度):5.6人程度。
監視下(重度):2人 程度のリハビリを実施。
月末には軽度の患者の代診を独立で開始。

5月

月末目標は独立(軽度):3.4人、監視下(中等度):2人 程度のリハビリを実施。
月末には軽度の患者の代診を監視下で開始。

4月

*免許到着前
～到着後

指導者の監視の下、院内やリハビリ室の業務内容の把握に努め、間接業務を中心に行う。

指導者の患者・新患を、到達状況に応じて徐々に新人が担当を行う。

月末目標は監視下:2人程度のリハビリを実施。



定期的に勉強会や院内研修会が開催されています。また、院外研修には補助金が支給され、さらなるスキルアップが可能です。



疾患別班に分かれているため、病態の理解やリスク管理の徹底など専門性を高めることができます。また、困った時は経験豊富なベテランセラピストに相談できます。



いい仕事をするためには、いい休息を。休憩時間は業務とのメリハリがあり、各々自由なひと時を過ごしています。業務後は定期的開催されるフットサルやバレーボールなどでリフレッシュしています。

スペシャリストへのステージアップを支援

*疾患別班に所属し、より専門的なスキルアップ

↓学習目的が明確化し、特定の疾患に関わり続けることができる。

*疾患別班内での代診にてスキルアップ

↓先輩の評価やアプローチを学び模倣できる。

休日明けには担当患者のフィードバックを受けることができる。

*疾患別班を超えた関わりでスキルアップ

↓複合疾患や既往歴など、班同士で協働して評価やアプローチができる。



院外研修への補助

院外で開催される研修や学会も出張として認められています。
資格取得を支援する体制も整っており、さらなる技術の向上を目指します。

平成31年・令和元年度 院外発表一部 (詳細はHPをご覧ください)

- ・第13回国際リハビリテーション医学会世界会議(兵庫県)
- ・第25回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(大阪府)
- ・第7回日本運動器理学療法学会学術大会(岡山県)
- ・第46回日本臨床バイオメカニクス学会(福岡県)
- ・第50回日本人工関節学会(福岡県)
- ・理学療法士会中播磨支部新人発表会(兵庫県)
- ・作業療法士会中播磨ブロック事例報告事例検討会(兵庫県)



リハビリテーション科 新人研修



ツカザキ病院を選んで良かった 4つの理由!

更なる キャリアアップ

私は4年間、他院での手術後に通院される患者様が中心となる地域の整形外科クリニックに勤務をしていました。急性期病院では、どんな治療や手術、リハビリが行われているのかを学びたく転職を決意しました。

現在、当院では変性疾患や外傷等に対して、最新の手術が毎日行われています。術前評価や手術見学、専門学会への参加で知識を深めています。今まで学んだことや経験を最大限に活かしつつ、更なるスキルアップができる環境だと感じています。



PT歴7年

働き型を変える

私は3年間、回復期病棟で勤務していました。当院は365日のリハビリ提供体制ではありますが、休日希望が配慮され、研修会・学会へは出張での参加が奨励されています。充実した福利厚生もあり、公私ともに両立できると感じました。

また疾患ごとにチーム医療が実践され、経験年数や職種間に問わずコミュニケーションが密に図れているところに魅力を感じ、ツカザキ病院への転職を決意しました。現在、SCU病棟にて急性期の脳卒中リハビリテーションに日々励んでいます。



PT歴8年

充実したOJT

私は4年間、通所リハ・訪問リハを行っていました。急性期でのセラピストの関わりが将来の在宅生活に大きく影響することを感じるようになり、エビデンスに基づくアプローチが学びたく転職を決意しました。

実習でも経験のない急性期治療に戸惑うこともありましたが、担当プリセプターの指導や疾患別班内でのディスカッションを通して、日々切磋琢磨しています。生活期での活動・参加に繋げる、『質』と『量』を意識したリハビリテーションを心掛けています。



PT歴7年

資格取得への 支援体制

当院の魅力は、自分を高めるために必要なスキルアップへの取り組みが充実しているところです。具体的には、最新の知見を得るために学会や研修会参加、研究発表や症例検討など院内全体でバックアップする体制が整っています。

更なる質の向上を目指して大学院へ進学をした際にも理解と協力が得られました。このような恵まれた環境に感謝し、患者様の治療成績向上を目指して努力しています。今後も知識や技術に加え、EBMに基づいた臨床と研究の継続をしていきます。



PT歴12年

キャリアセラピスト教育プログラム

マンツーマン指導によるプリセプター制度を導入

1ヵ月

疾患別班に所属しプリセプターの訓練見学から始める。プリセプター監視の下、急性期治療や合併症、ルート管理などを学習する。
能力に応じて、段階的に重症度の高い患者を担当する。

月末目標

担当患者と疾患別班内の代診を合わせて7人程度のリハビリを実施する。

2ヵ月

独立で訓練する担当患者数が増え、高度な管理を必要とする患者のみ監視下で実施する。

月末目標

担当患者と疾患別班内の代診（軽度～重度）を合わせて9人程度のリハビリを実施する。

3ヵ月～

重症度による疾患別班内での担当制限はなくなり、他の疾患別班（軽度～中等度）の代診を開始する。HCU・SCU患者も含めて、独立で訓練する。
他セラピストと同様の業務内容、業務量となる。年間通して、担当プリセプターが相談を受け、リハ科・疾患別班の全体でフォローしていく。

自らが積み上げてきたキャリアの上に、更に経験値を積み、大きな成果をあげる

病院見学へ是非お越し下さい!

社会医療法人三栄会

ツカザキ病院



◀見学はQRコードからエントリーできます▶

<http://www.tsukazaki-hp.jp/inquiry>

〒671-1227 兵庫県姫路市網干区和久 68-1

Tel: 079-272-8570 (人事直通 担当 土井)

